

第27回残業実態アンケート調査票

2019年3月 東京国公・霞国公

このアンケートは、1985年からスタートし今年で26回目となります。霞ヶ関を中心に都内の国家公務員を対象に、その残業実態を明らかにするために実施をしています。調査結果をもって政府や各省庁に対する実効ある残業削減のための要求に活用いたします。

ひとりでも多くの方々に、率直なご意見を書き込んで頂きたいと思っております。

政府は、この通常国会では、「働き方改革」を打ち出していますが、その内容は8時間労働という枠組みを投げ捨て、過労死・過労自死を増大し、残業代を払わなくてすむ財界のための大改悪です。

公務の職場で、健康で働き続けられる職場づくりのために、みなさんの声をお寄せ下さい。

F1 職名

- ①課長補佐 ②専門職(専門官等) ③係長・主任 ④係員 ⑤非常勤職員 ⑥その他

F2 性別

- ①男性 ②女性

F3 年齢

- ①30歳未満 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60歳以上

回答欄	
F1	
F2	
F3	

Q1 あなたは、昨年1月～12月の1年間で、月平均何時間程度の超過勤務を行いましたか。(休日出勤・早朝出勤・昼休み時間や持ち帰り等を含む)

- ①0時間 ②1時間以上 ③10時間以上 ④20時間以上 ⑤30時間以上 ⑥40時間以上
⑦50時間以上 ⑧60時間以上 ⑨70時間以上 ⑩80時間以上 ⑪100時間以上 ⑫150時間以上
⑬200時間以上

Q1	
----	--

Q2 あなたは、昨年1月～12月の1年間で、過労死ラインといわれる「月100時間を超える」超過勤務を何ヶ月行いましたか。

- ①0ヶ月 ②1～2ヶ月 ③3～4ヶ月 ④5～6ヶ月 ⑤7～8ヶ月 ⑥9～10ヶ月
⑦11～12ヶ月

Q2	
----	--

Q3 あなたは、昨年1月～12月の1年間で、過労死ラインといわれる「連続して2ヶ月から6ヶ月間の月平均の超過勤務が80時間を超える」場合がありますか。

事例①1月71時間、2月90時間、計161時間の場合は、連続2ヶ月間で月平均80時間を超える事例

事例②1月90時間、2月75時間、3月96時間、4月60時間、5月95時間、6月65時間、計481時間の場合は、連続6ヶ月間で月平均80時間を超える事例

- ①あった ②なかった

Q3	
----	--

Q4 あなたは、これまで業務の遂行に伴い、過労死の危険を感じたことがありますか。

- ①過去にあった ②現在感じている ③感じたことがない

Q4	
----	--

Q5 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

- ①健康である ②不調である ③薬等を服用している ④通院治療中である

Q5	
----	--

Q6 あなたは、「体調が悪くて仕事を休みたかったが、休めなかった」ことがありますか。

- ①ある ②ない

Q6	
----	--

Q7-1 あなたは、仕事や職場で、疲労や精神的ストレスを感じていますか。

- ①感じている ②感じていない ③どちらともいえない

Q7-1	
------	--

Q7-2 Q7-1で「①感じている」と回答した方にお聞きします。それは、どのようなことが要因になっているとお考えですか。次の中から、該当する番号を全て選び、回答欄に○を付けてください。

- ①職場の人間関係 ②仕事の量が多すぎる
③超過勤務・休日出勤など長い労働時間 ④評価や能力主義、ノルマの達成が厳しい
⑤上司のパワーハラスメント ⑥セクシュアルハラスメント
⑦対外的な対応 ⑧仕事の内容が単純
⑨OA機器の普及や作業の機械化 ⑩劣悪な職場・作業環境
⑪配置転換・転勤・単身赴任 ⑫通勤ラッシュ・長時間通勤
⑬その他()

Q7-2	
①	②
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
⑨	⑩
⑪	⑫
⑬	

Q7-3 前記の回答で、具体的な内容をご記入ください。

--

Q8 あなたが、定時に退庁出来ない主な原因を、3つ選んでください。

- ①業務量が多いため ②人員配置が不適切なため
③職場の不合理な仕事の進め方のため ④上司が帰らないため
⑤管理者の退庁指導が弱いため ⑥職場の帰りづらい雰囲気のため
⑦時間外にある省内の会議・協議のため ⑧時間外にある他省庁との会議・協議のため
⑨予算関係の対応のため ⑩国会関係の対応のため
⑪時差のある国際関係業務のため ⑫その他の原因()

Q8	

Q9 あなたが、国会対応を改善するために、最も必要と考えることはどれですか。

- ①質問の早期通告 ②質問取りの体制強化 ③回答部署の割り振りの早期化
④国会待機者の絞り込み ⑤答弁資料の簡素化 ⑥国会対応業務がない
⑦その他()

Q9	
----	--

Q10 あなたの省庁で取り組んでいる、超過勤務改善施策について、どう思いますか。

- ①効果が上がっている ②どちらかというこ効果が上がっている
③どちらかということ効果が上がっていない ④全く効果がない ⑤どちらともいえない

Q10	
-----	--

Q11 あなたの課室の管理者は、定時退庁日に定時退庁の働きかけをしていますか。

- ①毎回する ②時々する ③全く働きかけない ④定時退庁日がない

Q11	
-----	--

Q12-1 あなたは、定時退庁日に定時退庁できますか。

- ①出来る ②時々出来る ③出来ない ④定時退庁日がない

Q12-1	
-------	--

Q12-2 平均的な退庁時間は何時ですか。

- ①17時より前 ②17時台 ③18時台 ④19時台 ⑤20時台 ⑥21時台 ⑦22時台
⑧23時台 ⑨24時台 ⑩25時台 ⑪26時以降

Q12-2	
-------	--

Q13 あなたは、昨年1月～12月の1年間で、年次休暇を何日くらい、取得できましたか。(夏季休暇は除く)

- ①0日 ②1～5日 ③6～10日 ④11～15日
⑤16～20日 ⑥21～25日 ⑦26～30日 ⑧31日以上

Q13	
-----	--

Q14-1 あなたは、昨年1月～12月の1年間で、何日くらい休日出勤しましたか。

- ①1～5日 ②6～10日 ③11～20日 ④21～30日 ⑤31日～40日 ⑥41～50日
⑦51日以上 ⑧なし

Q14-1	
-------	--

Q14-2 休日出勤をした方にお聞きします。休日出勤に対して、代休か手当がありましたか。

- ①全ての代休を取得した ②代休を一部取得した ③全額手当支給 ④一部手当支給
⑤代休も手当もない

Q14-2	
-------	--

Q15 昨年1月～12月の1年間で、超過勤務手当の不払い(過少申告や申告どおりの超過勤務手当が支給されないこと)は、ありましたか。

- ①ある ②ない

Q15	
-----	--

Q16 超過勤務手当は、実際の超過勤務時間のおよそ何%くらい支払われていますか。

- ①未支給 ②20%未満 ③40%未満 ④60%未満 ⑤80%未満 ⑥100%未満 ⑦全額

Q16	
-----	--

Q17 昨年から実施している「霞が関過労死110番」の相談窓口の存在を知っていますか。

- ①知っている ②知らない

Q17	
-----	--

Q18 働き方の改善を図るために、どのような施策を希望しますか。また、テレワークの推進についてどのようにお考えですか。

--

超過勤務問題を含め、不安・不満に思っていることなど、自由にご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

(意見記入欄)

--

ご協力ありがとうございました